

# 難民キャンプで 白衣の天使に

## プノンペン出身 岡山のダビーさん

# 晴れやか

高梁市向町の高梁看護高等専修学校（池田校長）で九日、本年度の入学式が行われ、難民の境遇にもめげず勉強を続け、見事同校に合格したカンボジア出身のクン・ダビーさん（三〇）岡山市櫛津も晴れやかな表情で出席。「難民キャンプで白衣の天使になりました。」という夢に向け、看護の道へ第一歩を踏み出した。

プノンペン出身のダビーさんはカンボジア内戦の激化により、九歳でタイの難民キャンプに脱出。キャン

プで知り合った日本人の紹介で、十三歳のときに父、継母と一緒に来日した。タイに逃げる途中、力尽

## 看護学校入学 決意新た

きて亡くなる人や多くの負傷者を見たダビーさんは、看護婦になることを決意。昨年三月に横浜の定

時制高校を卒業後、岡山市、きながら勉強を続け、今年四月、同専修学校に見事合格した。



看護婦の道へ第一歩を踏み出した  
カンボジア難民のダビーさん

の同期生とともに出席したダビーさんは、やや緊張した面持ち。池田校長から「細かい言い回しや難しい漢字が分からず困ることもあると思いますが、友達同士助け合って、二年間頑張ってください」と激励の言葉を贈られ、決意を新たにしていった。

ダビーさんは今後も岡山市に住み「すこやか苑」で午前中働き、午後から同校の授業に出席。二年間、医療技術や看護知識を学んだ後、六年度末の准看護婦試験合格を目指す。

ダビーさんは「しっかりと勉強して将来は患者に頼られる看護婦として、難民キャンプで働きたい」と張り切っている。